

神野ガバナーにおかれましては、たいへんご多忙の中、犬山の地においで下さり、有難うございます。のちほどお話しが伺えるということですので、大変楽しみにしております。

本日、ホストを務めさせていただきます、江南ロータリークラブ会長の川崎と申します。設営には万全を期しましたが、不行き届きがありましたらロータリーの友情をもってお許しいただきますようお願い申し上げます。

さて、私も何回もこのガバナー訪問に接する機会を得ていますが、その実その意味を深くは考えていなかった気がしています。マイロータリーによりまして、「クラブは、ガバナーからの指導と支援を頼りにし、ガバナーはクラブのモチベーションを高める役割を果たす」とあります。

今日のガバナーのお話しをもとに、現在のクラブ活動を検証し、今後のクラブ運営に生かすとともに、神野ガバナーがどんな人なのかも感じとって戴ければ幸いです。

最後までご清聴いただくことをお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくようお願い申し上げます。



ガバナー紹介 (小牧 RC 堀井 武 会長)



卓 話 R.I.第 2760 地区

2017~2018 年度ガバナー 神野 重行 様



只今ご紹介いただきました本年度この地区第 2760 地区ガバナーを仰せつかっております神野重行でございます。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

正面の写真は白くまです。先ほど川崎会長様から神野重行なるものがどういう人物かよく見定めてほしいという紹介がありました。私のタイトルは白くまのようです。自分ではそうは思っておりませんが今年のロータリーの友 7 月号、それは皆様のお手元に届いてご覧になった方はお分かりだと思いますが、7 月号ですので私の同期を含めて日本のガバナー 34 人の紹介文が載っておりますが、書いてくれたのは今日パワーポイントの操作や私と行動を共にしております、地区幹事の加藤定伸さんです。私にこういう文章を書けとかどういう風にしたらいいかとか相談は全くありませんで、勝手に書いた文章です。文章はともかくタイトルをつけるのは加藤地区幹事ではなく、6 月末までロータリーの友、編集長で二神典子さん。この文章を見ながらで 34 人の紹介文のタイトルを付けていく権限をお持ちのようです。私のタイトルは、「紳士は白くま？牛？」これはなんじゃ、と思いました。私が二神さんとお目にかかったのは金沢でロータリークラブに入りました時に「寒い所ですね」と言われ、私は寒さはめっぽう強いしコートは着たことがないし、「私は名古屋勤務、東京勤務、金沢勤務におきましてもコートを着たことがない」というお話をしたら「白くまみたいですね」ということで、紳士はいいですが、白くまか牛かと言われたんじゃ私もつらい立場になりました。そのあたりを読んでいただきますと、他のガバナーはとても良いタイトルがついております。これから頼りにできるなというようなタイトルです。白くまの写真が出ましたが、隣は私の家内です。ガバナーは 1 年一緒に仲良く頑張らなくてははいけませんと先輩からもご指導いただいております。今日は福田先輩、江崎先輩がおみえですが、自分なりに 1 年頑張ってみようと思っております。

前置きが長くなりましたが、今日は江南 RC のホストで、兄弟でいらっしゃいます犬山 RC、小牧 RC、岩倉 RC、愛知 REC の合同の例会を作っていただきましてありがとうございました。先程お話がありましたように会長幹事懇談会がみんな結構和やかに言いたいことは言い、私も聞きたいことは聞いて、大変有意義な時間でした。

それぞれのクラブの状況につきましては、すでにクラブ訪問をしていただいております、鈴木文勝ガバナー補佐からもご報告いただいております。各クラブとも独自のクラブ活動で特にこのエリアの皆さんは、地道にロータリー活動、地区に根付いた奉仕活動を積み上げていただいております。そんなことを報告から拝見しております。そして皆様方がもう既にお読みいただいておりますクラブ計画書、こちらにも会長方針自分たちのクラブの方向性、取り組み姿勢がしっかりと書かれておりますし、私も拝見をしました。まずこの取り組みに御礼感謝申し上げます。特に小牧 RC さんは今年度クラブ創立 50 周年、これをお迎えになり、おめでたいお話でございます。来月 9 月 24 日には小牧市民レスポス（レクリエーションとスポーツの合成語）体操フェスティバルをお開きになるそうで、私も出来たら・・・と思いましたがちょうどその日は、ソウルで日韓の合同会議がございまして、そちらに行くことにな

っておりますので、ソウルから成功をお祈りしております。

今日の各クラブさんからは、今申し上げました大先輩、福田パストガバナー、江崎パストガバナーもご出席いただいております。他に今日のクラブの中からは今年度私の地区の運営に多くの方にご出向頂いております。そちらにつきましても、高い場所からではございますが、厚く御礼申し上げる次第でございます。各クラブでもそれぞれ進められております、地域での奉仕活動、国際奉仕活動、青少年奉仕活動、さらには今申し上げました青少年の中にインターアクト・ロータリーアクト、こちらなど特に力を入れて推進して頂いておりますので、今後、益々磨きをかけていただくと同時にあとで申し上げますが、クラブ戦略委員会の中で再検証しながら、より有意義な活動を展開して頂くようお願いを申し上げます。

さて今年度私ども RI 会長イアン H.S.ライズリーさん、この写真のようなオーストラリアの方で、だいたいい私と近い年齢だそうですが元気です。このスポーツシャツこれは1月のサンディエゴ国際競技会でカジュアルディで、みんなが買って来たもので1枚 150 ドル、手にしてみますと日本だと 50 ドルも出せば買えるかなという薄いものでございますが、その差額はわたくしどもの奉仕の心でございます。この薄いシャツを平気で1日頑張っておられました。

私の仲間、私は白くまですから平気ですが、この上にセーターやらジャケットを寒そうに着ておられました。イアン H.S.ライズリーさんのテーマ。これは先程見ていただきましたクラブ計画書にもしっかり出していただいておりますし、鈴木ガバナー補佐からもご解説、お話があったかと思えます。あまり重複しないよう私からお話をさせていただきます。

今年度の RI 会長のテーマ：

MAKING A DIFFERENCE ロータリーに変化をもたらす、と言うものであります。今申し上げましたクラブ計画書のほか、ロータリーの友、ガバナー月信 7月号にそれぞれ載っておりますので、ぜひお読みいただきたい、もう一度確認して頂きたいと思えます。要約いたしますと、ロータリーは自らの職業倫理性を高めそれを通して世界に良いことをしようという理念を変えることはありませんが、その行動は時代とともに変化させてきております。今、この時代だからこそ我々ロータリーが目的と理念を大切に守りつつ、世の中に良いことをしようという、自分たちの奉仕活動を周りの人々に伝播していくことが求められています。

RI メッセージ

それにはまず私どもが行動することによって、ロータリー活動の意義と楽しさを感じなければなりません。それによって私どもは、自らを変え、そして回りを変えていくことができるでしょう。その力を貰えるでしょうということでもあります。

イアン H.S.ライズリー会長は世の中で良い事をしようという、それを自分の勤めと信じる人が集まる団体。地域社会と世界に変化を生み出したいという願いを、ロータリーを通じて実現できるということを自分でわかった人が集まった組織、それがロータリーなのです。

だからロータリーはどのような団体ですかというのではなく、何をしている団体かと定義されたい、こう言っております。即ち、奉仕という行動を通して、自分自身を含めて、人々の人生に変化をもたらそう、これがイアン H.S.ライズリー会長のメッセージでございます。

RI テーマに対する想い

会長テーマの解説につきましては、この程度にいたしましてこの後、イアン H.S.ライズリー会長のテーマについての私の想い、それを受けて今年この年度皆様方と一緒にやっていきたいという地域に対する想い、そして地区方針について簡単にお話をしてみたいと思えます。

今年一月、サンディエゴの国際協議会でテーマ講演を聞きました。その時にイアン H.S.ライズリー会長が大変革の時代の RI の我々のリーダーにふさわしい人だと思った次第であります。

その理由の第一は、ロータリーとして初めて地球環境問題に対しての行動を提案したこと。

第二、我々の行動によって周りを変えていこうと考え方をはっきり打ち出したこと。

第三、ロータリーの未来に向けての課題、問題点二つを明確に指摘したことであります。

第一の地球環境問題についてであります。今までもこれは議論されてきたことではございますが、これに対する具体的な取り組みについての提案は、イアン H.S.ライズリー会長が初めてでございます。

これはサンディエゴの国際協議会、私共ガバナーエレクトに配られるメッセージには最初入ってなかったようです。日本のように国土の三分の二が森林の国ですら、東日本大震災の被災地はまだまだ植林地が必要だと言われております。世界を見渡してみますと砂漠化で水を確保が難しい、生活環境の保全が弱い。更には大気汚染問題の解消の為、大変な苦勞をしている場所と国が多いわけではございます。未来に向けて我々が地球上に住む人類のみならず、すべての生物に分け隔てなくできる一番に良くできることを、イアン H.S.ライズリー会長は皆で協力しようと言ったわけではございます。各クラブにおかれましては既に分区での対応、或いはお誕生日に一本ずつ木を植えよう等含めて植樹のお取組みをいただいているようであります。それについても私から御礼を申し上げます。

二番目の考え方については、ロータリーの原点とも言われる職業奉仕、この再認識というふうに考えることもできます。即ち、ロータリアンは自分たちが、自分たちの職業や立場を通して世界で良い事をしようとして社会奉仕活動をしてきた訳であります。それ以上に我々の周りの人たちにロータリーの活動を認識し、共感してもらえればよい事の幅も奥行きももっと広く深くなる、こういうことをもっと認識しようではないかという呼びかけでございます。もちろん私たち自身がロータリーの奉仕活動を通して 自らの喜びを強く大きく感じる、これが前提でございます。

三番目、これは今までもずっと言い続けてこられたことであります。イアン H.S.ライズリー会長はロータリーの未来を見据えて課題として出した問題提起であ

ります。これからロータリーを担っていくメンバーにそれぞれの立場で真剣に考えてほしい、そういったことで私も評価をした次第であります。

後でお話いたしますが、各地区のビジョン、これは十年後二十年後も、この地区が輝き続け持続可能であることとしておりますが、会長エレクト研修会、或いは地区研修・協議会でもお話をしましたが、各クラブが十年後二十年後、輝いていることは地区の輝きの大前提であります。昨年 RI の規定審議会で大幅にクラブの裁量権が拡大をされました。私は今年度からクラブの戦略委員会、ビジョン委員会、未来委員会を作りいただいて、クラブの分析、奉仕活動の点検等に取り掛かっていただきたいと思います。もうすでに、その体制が出来たりして、準備を着々と進めて頂いておりますことにも感謝を申し上げます。

ロータリー組織としての課題

イアン H.S.ライズリー会長はロータリーの組織としての課題として二つの問題点をあげました。一つは男女比率の問題、もう一つは会員の平均年齢の問題であります。

一つ目の男女比率の問題ですが、私はロータリーがアメリカで生まれ育った奉仕団体でありながら、1989年まで男性だけの組織団体であったわけです。まだ三十年に満たないわけではありますが、そんな中で世の中と同じ男女比率フィフティフィフティは無理があると思っております。ただ、私はこれこそクラブ戦略委員会だけではなく、それぞれのクラブでしっかり議論しお決めいただく、クラブの自由裁量の問題だと考えております。

現在我が地区愛知は、女性の会員は 4.1%しかおられません。今年 1 月のサンディエゴの国際協議会に集まりました、私のガバナー同期は 539 名の内、103 人は女性であります。ご主人がパートナーとしてついてこられておりました。世界の会員の女性比率の割合は 2 割と聞いております。

日本を見て見ますと、データが古いのですが 2013 年度の数字を確認しますと、東京は 13.5%、神奈川・福岡・大阪・兵庫の大都市圏は 12%で、全国平均は 11.1%。これらを見ますと愛知の 4.1%は低いと感じます。是非、ロータリーのメンバーもそんなことをお考えいただき、戦略委員会で考えていただきたいと思います。今ロータリーは、世の中で良いことをしたいと意欲のある方、また社会で良い評価を受けておられる方はメンバーのご同意があれば職業の問題なしに我々の仲間に入れられることができる団体となっております。

もう一つの課題、平均年齢でございます。世界で 40 歳未満の会員が 5% 下回っています。我が国の少子化もこれからのロータリーを考えますと真剣に考えないといけない課題だと思います。

地区方針、地区ビジョン

日本では 90%のクラブが毎週、昼に例会をしております。また、それも平日に集中しております。さらに高い入会金や会費、こんなことを含めてクラブの独自性が認められるようになった今、思い切って例会の在り方を見直し、変更することも必要になってくるので

はないかと思っています。

愛知ロータリー E クラブ。こちらはこの地区でひとつのロータリーの未来像のように感じております。先程も申し上げましたが、年間ビジター、もちろんビジターフィをお支払いになってビジターとなって、E クラブにメイキャップされる方が二千人目標を超えるかもしれないということです。是非同じ仲間にもそういうクラブもあるということ、ちょっと知って勉強をしていただければと思います。

ロータリーの評価と認識度

我が国にかかわらず、先進国の数多くのボランティア団体がそれぞれの目的をもって奉仕活動を行っております。その中で 112 年という長い歴史を誇ります我がロータリーはお陰様で一番の高い評価をいただけるようになりました。

ただそうは申しましても、地区、地域、そして世間からまだまだ認知をしていただくところまで至っておりませんし、活動内容の理解につきましてもイマイチと言わざるを得ないのが現実です。

認識度と公共イメージの向上

私はガバナーに就任しまして、愛知県知事や名古屋の市町さんに就任挨拶をしましたが、それだけではなく新聞、テレビなどのマスコミのトップの皆様、奉仕活動の説明、あるいはそれに対する理解をしていただけるように、さらにマスコミの皆様にも我々の活動を取材していただき、世の中にもっと広めていただけるように公共イメージ向上委員会の皆様と周らせていただきました。そのうち幾つかは、新聞記事やニュースに取り上げていただき、それを見ていただいた方から、「神野さん、ロータリーって何かいい事しているんだ、勉強しているんだ」と言っていただき非常に嬉しかったです。地区としても、公共イメージ向上委員会が毎月、翌月のクラブの奉仕活動をマスコミに流す、あるいは地区の行動をマスコミに知っていただく、こういうルートを作りましたので皆様方からも是非ご協力いただき、来月再来月こんなことをやるぞ、と教えていただければと思っております。特にこの分区の皆様はしっかり根付いた活動をしておられますので、もっと一緒にやっていただきたいと思います。思っております。

イアン H.S.ライズリー会長のテーマをベースに地区やクラブでやっていこうという話は、今申しあげた通りでございますが、5 年 10 年後の姿、それを描いてみてそれぞれに向けてクラブ戦略委員会などで具体的の方策を検討実行していただきたいというのが、私のお願いする結論でございます。

地区方針はもうご存知でしょうか？「今日からのロータリーを楽しもう」であります。

地区ビジョン

地区ビジョンこれは今お話ししました 10 年後 20 年後もこの地区、地域が輝き続けていること、その為に各クラブが輝いていただきたいこととあります。クラブ計画書にもしっかり載せていただいておりますが、五つあげさせていただいております。もう具体的にその取組をしていただいております。是非よろしくお願い申し上げます。

ガバナーからのお願い

ガバナー補佐の皆さんに、今年度それぞれのご担当の分区、クラブを4回ずつ周ってくださると提案して猛反発をくらいました。周れるかというお話もごさいます。鈴木ガバナー補佐は一生懸命に、チームでお話合いをしていただきたい、また要望を聞いていただきたい。私もできましたら公式訪問ではなく時間をとって伺いたいと思います。

それからご存知の通り、10月14日～15日、WFF（ワールドフード+ふれ愛フェスタ）をやらせていただきます。既にお申込みをいただいている岩倉 RC さん、ご協力ありがとうございます。また、犬山 RC さんと江南 RC さんは移動例会をお考え頂いております。本当に楽しい会ですのご家族と一緒にご参加いただきたいと思っております。

それから大切な会員増強。これは言われてやるのではなく、自分たちのクラブの奉仕活動をより有意義にする為の問題であります。是非、会員増強委員会にだけお任せにするのではなく、クラブ全員が力を合わせて自分たちの仲間作りに励んでいただきたいと思っております。

ガバナー賞は会員増強と米山奨学記念事業のご協力でございます。江崎パストガバナーにおかれましては、そちらの委員会委員長もやっていただいております。是非皆様方も日本の理解者を増やす、平和・友好の実現の為に米山奨学事業にご協力いただきたい。寄付は会長幹事懇談会でも申し上げましたが、自分たちのクラブの奉仕活動に三年先に戻ってくるお金の積立と理解していただきたいと思っております。所謂、Donation（寄付）ではなく、Contribution（貢献）という気持ちで理解をしていただけると嬉しいです。

最後にマイロータリー、これにつきましては、皆様方に相当進めていただいておりますが、これは嫌々やってもしょうがないです。何で入るんだということが理解できないといけないわけです。地区公共イメージ向上委員会からもご説明に伺いますが、会員一人ひとりをもっと広いネットワークを持って情報を共有して、他の仲間の事を知ると同時に自分の事も知ってもらいたいという事がございます。

マイロータリーからは自分の貢献度がしっかり確認できるということを知っている方が少ない。毎日は見なくてもいいので、時々ロータリーはどんなことをやっているか確認していただきたい。今年度末までには地区として50%をはるかに超えるだろうと思っております。是非マイロータリアンか事務局の方に聞いていただけて活用していただきたいと思っております。

最後、トロントの画面がでました。来年6月にカナダトロントで2017-18年度の国際大会が開かれます。今年はアトランタでしたが、トロントは気候的にも丁度良い、見どころも十分。是非今年度の皆様方の思い出にお出掛けいただきたい。ガバナーナイトは6月24日でございます。また、皆様方とトロントでもお目にかかりたいと思っております。

今日からのロータリーを是非私も一緒に楽しませていただきたいと思っております。皆様方のご健勝と各クラブの益々のご発展をお祈りして私の卓話とさせていただきます。ありがとうございました。

御礼の言葉（愛知 REC 山内 義晴会長）



今日は非常にすばらしい神野ガバナーの卓話をいただきました。白くま、は僕のイメージではとても温かくて相談すると色々聞いていただけるようなお人柄のイメージを持ちました。

5年10年戦略委員会を自分たちのクラブも行いながら、一般の方からロータリーは本当にすばらしい、良いことをやっていると言われるような、5クラブが発展する会となったことを確信しております。どうも本日はありがとうございます。

ガバナー退場先導（岩倉 RC 大江 秀和会長）

会長幹事懇談会

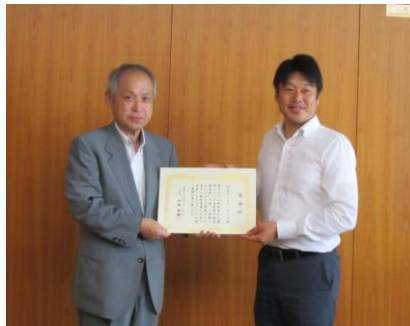
合同例会前11時00分より、神野ガバナー、加藤地区幹事、小酒井地区副幹事と5クラブの会長幹事で懇談会が行われました。

ご報告

☆在宅要介護者への支援事業の実施について

要介護者への支援事業として、大判タオル犬山市160枚、扶桑町62枚を民生委員の方々を通してお届けします。

8月29日(火)に吉田会長、原幹事、埴田社会奉仕委員長が目録を犬山市・扶桑町へそれぞれ届け、感謝状をいただけてまいりました。



☆大縣神社より第47回八ツ八祭献書展事業報告書が届きました。